

子どもが安心して生活できるように

児童支援専任 野本 健

12月は、「人権週間」及び、「いじめ防止啓発月間」にあたり、だれもが安心して豊かに生活できる学校の実現に向けて「いじめ解決一斉キャンペーン」を実施します。

上矢部小では、定期的に児童理解する時間を作り、いじめや暴力、SNSトラブル等や今後不安なことがあれば、関係職員でいつでも情報を共有できるような環境体制を作っています。また、月に1回「校内いじめ防止対策委員会」を行い、いじめの認知や解消に向けて情報共有しています。

現状としては、放課後のトラブルがととも増えています。学校で仲良く元気に過ごしていたかと思った翌日に、「学校に行きたくない」と保護者の方から相談を受けることも少なくありません。内容は様々ですが、登下校時のトラブル、SNSトラブル、金銭のトラブルが多いです。当然、学校で当該の児童に事実確認をしたり、指導したりさせていただいていますが、学校にできる事にも限界があります。保護者の方、場合によっては関係機関との連携が適切なケースもあります。

子どものトラブル対応で大事なことは、初期対応や早期発見と言われますが、子どもは個々に違いますし、困り感の事象も様々ですので容易なことではありません。子どものケア、再発防止に向けて保護者の方のご協力が必要不可欠です。是非、この機会にご家庭でも「登下校の仕方」「SNSとの使い方」「金銭の管理」を話題にしていただき、「もしも、自分が・・・」「もしも・・・されたら」という仮定でお子さんと一緒に考える時間をつくっていただくと幸いです。何か気になることがありましたら気軽にお知らせください。今後とも学校と家庭でチームを組んで子どもたちを見守っていきましょう。

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果及び考察について

令和5年度4月19日(火)に全国の6年生を対象とした全国学力・学習状況調査を実施しました。本校の教科に関する結果についてお知らせします。

	国 語	算 数
上矢部小学校	67%	59%
神奈川県(公立)	66%	63%
全国(公立)	67.2%	62.5%

国語科における平均正答率は、神奈川県と比較すると1%高く、全国より0.2%低い結果となりました。観点別に見てみると、基礎・基本的な問題も活用問題共に、神奈川県と全国の平均と同等程度の正答数となっていました。

算数科における平均正答率は、神奈川県の平均よりも4%、全国の平均よりも3.5%低い結果となりました。観点別に見てみると、基礎的・基本的な問題や活用問題も共に、神奈川県と全国の平均よりも4~5%低い正答数となっていました。日頃の学習の中で、基礎・基本的な力を伸ばすために、新しい単元に入る際の導入や既習の学習を丁寧にを行い、これからの学習に見通しをもって進められるよう意識して指導しています。また、問題を解く際には、自分の考えをノートに書く時間、自分の考えを小グループで伝え合ったり、クラスの友達に自分の言葉で伝えたりする時間を大切にすることで、思考力を高められるよう意識して学習を進めています。今後も一つの考え方や問題の解き方だけでなく、多様な考えをもち、自由な発想で自信をもって表現できる児童の育成に向けて指導を続けていきます。

25日(土) ファミリーコンサート

戸塚高校吹奏楽部を招いてコンサートを開きました。PTAのみなさん、企画・運営ありがとうございました！

